

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2008-169382 (P2008-169382A)

【公開日】平成 20 年 7 月 24 日 (2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報 2008-029

【出願番号】特願 2007-320665 (P2007-320665)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/14 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/14

C 0 8 K 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 2 日 (2014.4.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 5】

コポリマーの場合、 w_1 および w_2 は、反応容器に装填されたモノマーの重量を基準とする 2 種のコモノマーの重量分率を指し、 $T_{g(1)}$ および $T_{g(2)}$ は 2 つの対応するホモポリマーのガラス転移温度 (ケルビン度) を指す。3 種以上のモノマーを含むポリマーの場合、追加の項 ($w_n / T_{g(n)}$) が加えられる。本発明の目的のためのホモポリマーのガラス転移温度は、「Polymer Handbook」(J. Brandrup and E. H. Immergut 編、Interscience Publishers, 1966) に報告されたものであり、この出版物が報告しない特定のホモポリマーの T_g の場合には、ホモポリマーの T_g は示差走査熱量測定 (DSC) によって測定される。ホモポリマーのガラス転移温度を DSC によって測定するには、ホモポリマーのサンプルを製造し、アンモニアまたは 1 級アミンの不在下に保つ。ホモポリマーサンプルを乾燥し、120 に予備加熱し、急速に -100 に冷却し、次いで 20 / 分の速度でデータを収集しながら 150 まで加熱する。ホモポリマーのガラス転移温度は半高法 (half-height method) を用いて変曲の midpoint で測定される。